



2013 年 1 月 17 日

平成 25 年 2 月の液体ヘリウム供給について

ー供給制限の先送りと今後の見通しー

年明けになりまして、ヘリウム供給の情勢に改善の兆しが見えない状況が続いておりますが、本年もセンターの運営・維持にご協力お願いいたします。

さて、平成 25 年 2 月以降の液体ヘリウムの供給計画に**変更**があります。平成 24 年 12 月 26 日発行の「東北大学極低温科学センターだより号外 3」におきまして、2 月 1 日以降は「供給停止を視野に入れた供給制限の実施」という計画を通知しておりましたが、下記のように計画を変更いたします。

- ・ H25 年 2 月 28 日まで：通常供給（例年並みの供給量の場合）
- ・ H25 年 3 月 1 日以降：供給停止を視野に入れた供給制限の実施

この供給制限開始の延期は、センターが随時行っているヘリウム保有量、回収率、損失量、供給予測から積算した供給可能期限の再検討を行った結果によるもので、ユーザーの皆様のご協力で供給制限の先延ばしが可能になったものです。現在も、ヘリウム調達状況が改善していないことには変わりはありません。今後の見通しとしても、ヘリウム納入業者からは、「依然としてヘリウム調達が厳しい状況であり、この状態は新年度以降も続くだろう」という報告を受けているところです。ユーザーの皆さまには、これまでと同様、ヘリウム利用予定の再検討、また長期間連続運転されている装置をお持ちの場合は、装置を止める計画もご検討いただくようお願い申し上げます。

3 月以降の供給計画につきましては見通しが立ち次第、随時お知らせいたします。回収率の低い（又は無回収）の研究室につきましては、個別に早期の使用停止要請をさせていただきます可能性もあることを御了承下さい。

現状において、液体ヘリウムの供給可能期間を延長するには、**回収率の向上**以外に打つ手はありません。引き続き、液体ヘリウムを大量に使用する実験の延期、日常での液体ヘリウム利用の節約と回収率のさらなる向上にご協力下さい。

この件に関する問い合わせ先

青葉山地区： helium@mail.clts.tohoku.ac.jp

片平地区： ltcenter@imr.tohoku.ac.jp